

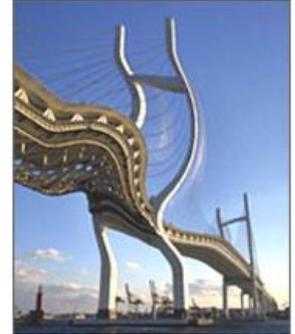
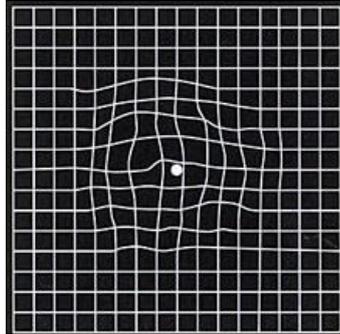


目からウロコ!? 加齢黄斑変性について

眼科 本橋 良祐

「加齢黄斑変性(かれいおうはんへんせい)」という言葉を目にしたことはありますか? 加齢によって誰にでも起こりうる目の病気です。

加齢黄斑変性は、脈絡膜から新生血管という通常とは異なる血管が生え、そこから水分が漏れることにより網膜を歪め、「ゆがみ」「中心が見えない」などの症状をきたします。



目をカメラとするならば加齢黄斑変性で障害される網膜や脈絡膜はカメラの「フィルム」を担当しています。皆さんになじみのある白内障は、水晶体というカメラの「レンズ」が加齢のよって混濁するものです。

「よく見える」ためにはカメラのレンズもフィルムも元気である必要があります。

加齢黄斑変性は、日本の失明原因の 4 位に位置する高度の視力障害を呈する疾患であり、日本人の 50 歳以上の約 1% に発症するといわれています。加齢黄斑変性が片目に発症した場合、早期に気が付かないこともあり、進行し高度の視力障害をきたしてしまうケースもあります。

《もしかしたら加齢黄斑変性かも? と思ったら》

「ゆがみ」「中心が見えない」などを感じたら眼科を受診し、眼底検査を受け早期発見することが大切です。しかし、早期に自覚症状のないこともあり、ご不安があれば症状がなくとも一度眼科を受診し眼底検査を受けることをお勧めします。

《加齢黄斑変性と診断されたら》

現在、加齢黄斑変性に対する治療は、「抗 VEGF 薬」を眼球に注射することが主流となっています。VEGF(血管内皮増殖因子)の働きを抑え、新生血管やそこから漏れる水分を減らし、治療をおこないます。眼球への注射は複数回行うケースが多く、定期的に通院する患者さんが多くなっています。見え方にご不安を感じた方は、お近くの眼科にぜひご相談ください。

<お知らせ> 第 59 回 市民公開講座

『 知っておきたい前立腺がんの基礎知識 ~前立腺がんと上手に付き合うために~ 』

講師 : 泌尿器科 宍戸 俊英 先生

日時 : 2019 年 11 月 2 日(土) 13:00 より開場 講演 13:30~14:30

会場 : 東京医科大学八王子医療センター 手術棟 3 階 講堂

入場料 : 無料 (お車で来場された方は駐車料金 200 円~かかります)